

常任委員会・行政視察報告

知立市議会には3つの常任委員会があり、それぞれの所管する分野について、付託された議案を審査するとともに、議会活動の一環として、調査、研究を行っています。

今年度も、11月に全国の先進市を選別し、行政視察を行いました。

◆企画文教委員会

11月14日～15日

広島県東広島市

「学校の元気応援事業」

山口県山口市

「協働のまちづくり」

◆市民福祉委員会

11月14日～15日

埼玉県戸田市

「中小企業振興条例」

埼玉県行田市

「包括的虐待防止事業」

◆建設水道委員会

11月7日～8日

京都府福知山市

「駅周辺整備事業」

兵庫県芦屋市

「芦屋庭園都市宣言」

各委員会の副委員長による視察報告の要点をまとめて掲載します。
（すべての視察報告書は、議会事務局にて閲覧可能です）

企画文教委員会

東広島市では、市教育委員会が策定した「新・学校教育レベルアッププラン」を踏まえた積極的かつ先進的な取り組みにより、学校力・地域力・教師力・家庭力の充実を図り、児童生徒の生きる力でもある、知・徳・体の調和のとれた人間力向上を目指し、県教育の模範的地域となっている。

山口市では、多くの地域課題に直面し、市民のライフスタイルや価値観の変化に伴い、これまでの画一的な公共サービスの提供では、市民のニーズに十分対応できなくなった。そこで地域が自らの責任と判断で住民ニーズに主体的に対応していくための交付金を創設し、個性を生かした地域づくりを行っている。



東広島市

市民福祉委員会

戸田市では、長引く不況による影響で、相次ぐ企業の倒産や廃業、市外流出、業績悪化が、雇用や税収に影響を与えていることへの有効な対応策の一つとして、平成23年2月議会において、議員提出議案として「中小企業振興条例」が制定された。全市を挙げて中小企業を盛り上げようという機運の高まりや、企業の自助努力を促進するものとしている。

行田市では、全国的に増加傾向にある児童虐待だけでなく、高齢者や障がい者への虐待対策として、条例を制定し、部所を越えた組織的な取り組みによる確実な対応が可能になった。あわせて市民が参加しやすい仕組みや機会の提供により、市民参加による福祉増進を目指している。



戸田市

建設水道委員会

福知山市では、駅付近連続立体交差事業にあわせて、駅土地区画整理事業（17・8号）を行っており、都市基盤を整備し、鉄道高架後の土地の有効利用を図り、都市施設を拡充することによって、南北市街地の一体化、都市機能の強化を図り、21世紀にふさわしい総合的な都心づくりを行っている。

芦屋市では、阪神淡路大震災を乗り越え「芦屋庭園都市」を宣言し、歴史ある美しいまちづくりをさらに進めている。世界中の人々が一度は芦屋を訪れてみたいと思うまちを目指して、公共的な空間、個人の庭等を対象に、市民と協働で花と緑いっぱい潤いのあるまちづくりを行っている。



福知山駅前